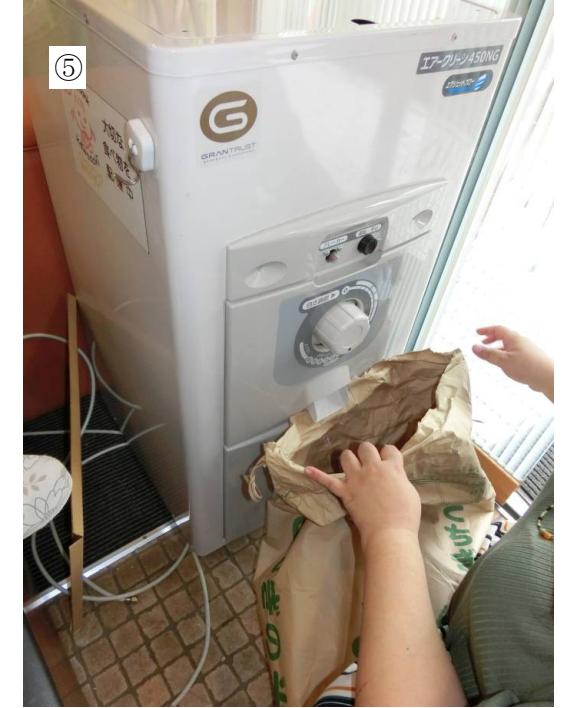


## フードバンク川崎への設備寄贈

令和2年6月29日

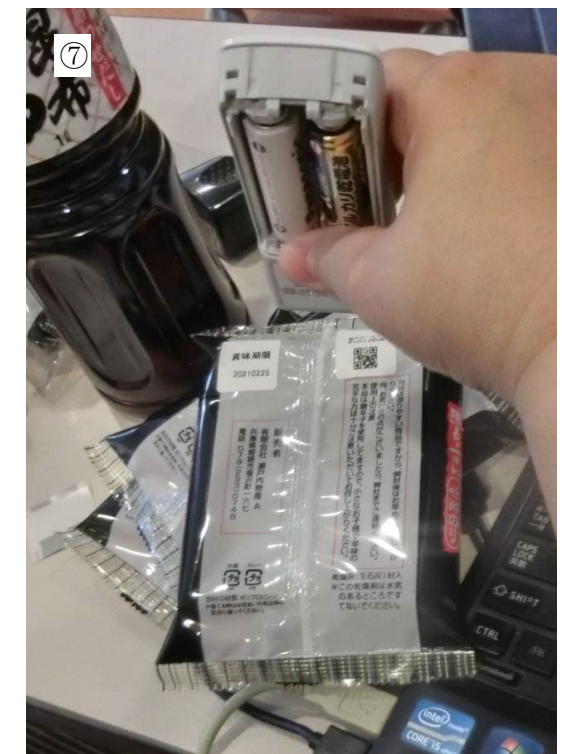
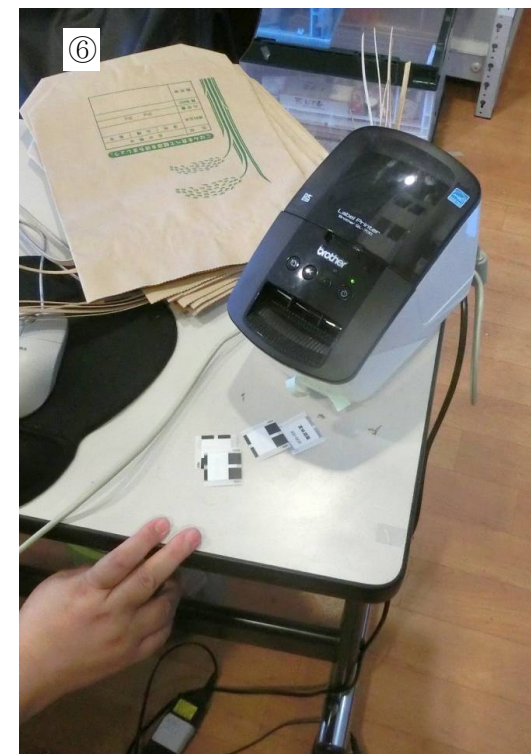
当クラブは、石川年度における35周年記念事業として、ロータリークラブ地区補助金を利用し、フードバンク川崎の活動支援として設備の寄贈を行いました。具体的には、以下の内容です。

- ①二温式冷蔵庫：一度に大量に譲り受けた玄米や野菜を一括して中期間、ストックできる保管庫。  
→これまでは野菜は当日か翌日までしか配布できなかった。
- ②精米機：玄米なら長期保管が可能のため、都度必要量を精米して支援先に配布が可能になる。  
→精米機がないために玄米譲受が出来なかったし、玄米は街のコイン精米機利用が必須だった
- ③ラベルプリンタ：バーコード管理するための必需品。従来管理できなかった品を管理できるようになる。  
→従来はバーコードが無いモノは手書きでメモ貼付するしかなかった
- ④バーコードリーダー：ストック品のデータベース作成には必須のアイテムで、ピッと読めば簡単入力。  
→リーダーが無かったので、ストックデータは一品ずつ手打ちで品名等を入力していた



### 【バーコードプリンタ・リーダー】

- ・例えば3パック入りの海苔も、小分けして各袋に消費期限とバーコードを印刷できるようになった。
- ・在庫管理のデータベース化が格段に容易になり、「誰に、いつ、何を、どれだけ」配布したかを管理できる。



### 【2温式冷蔵庫】

- ・従来は家庭用冷蔵庫しかなかったため、事実上、生鮮食料品の範疇のモノは受領も配布もできなかった。しかし、二温式冷蔵庫①が入ったお蔭で格段に自由度が増した。
- ・下段は長期保管用玄米と、配達前の精米済白米を配達先毎に名前を貼って一時保管している。
- ・上段はオシックスから貰った余剰野菜を、配達家庭毎に小分け②して一時保管している。
- ・低温保管が可能になったので、低温保管前提の色々な食料品を貰い受けられるようになった。例えば今年のお正月には、お節用の厚焼き玉子③を大量にもらい受けたので、上記のように保管して、小分けして各家庭に配布することが出来た。

### 【精米機】

- ・一度に30kgの玄米を精米できるようになった④ので、配布前に都度精米するようにしている。
- ・コイン精米機は途中で止められないが、この精米機は途中で止められる⑤ので、小分けに便利に使える。
- ・小分け用の専用袋を別途購入して、袋詰めして各家庭に配布するようにしている。

以上